

## 《2008年6月例会報告》

【日 時】2008年6月27日（金）19:00～20:40（その後「ルン」～23:30）

【会 場】筑波大学附属高校3F会議室（東京都文京区大塚1-9-1）

【テーマ】サロン2002のホームページをリニューアルしよう！

【報告者】本多克己（株式会社シックス）

【参加者（会員）】伊藤洋次郎（サロン初参加サッカーファン） 中塚義実（筑波大学附属高校） 本多克己（株シックス）

【ルンからの参加】北原由 白井久明 高橋義雄

【報告書作成者】根本いずみ（株シックス）

注）参加者は、所属や肩書を離れた個人の責任でこの会に参加しています。括弧内の肩書きはあくまでもコミュニケーションを促進するため便宜的に書き記したものであり、参加者の立場を規定するものではありません。

\*\*\*\*\*

### サロン2002のホームページをリニューアルしよう

報告者：本多克己（株式会社シックス）

\*\*\*\*\*

#### <目次>

1. はじめにーサロン2002 オフィシャルサイトの立ち上げと現状
2. リニューアルの方向性
  - 1) 月例会案内の告知と会員認証
  - 2) 月例会報告の掲載と参加申込の自動化
  - 3) 掲示板は必要か
  - 4) トップページのデザイン
  - 5) プロジェクトと公開シンポジウム
  - 6) 他のサイトへのリンク
  - 7) サロン2002の紹介とオフィシャルサイトの全体構成
3. おわりにーHPの位置づけと「敷居」のあり方

## 1. はじめにーサロン 2002 オフィシャルサイトの立ち上げと現状

中塚：ホームページをリニューアルしようということで、総会での議論をさらに具体的に落とし込んでいきます。MLに投稿された意見も反映させていきたいと思います。安藤さん、本杉さん、宮川さん、土谷さん、田中俊也さん、白井さん、牛木さんから意見をいただいています。

本多：2001年1月の月例会（月例会報告バックナンバー参照）を受けて、12月にHPを立ち上げました。ドメインは、salon2002.netで、これは特に議論は必要ないと思われます。デザインは、宇都宮徹壺さんから提供していただいた写真を利用するというのが前提にあり、その写真をベースにデザインされています。また、サロンの志がテキストで表示されています。

この点については、いろいろとご意見をいただいている、「怖そうなおじさんたちではサロンの雰囲気に沿わない」「もっと親しみやすいイメージがいい」「怖い団体みたい」という声があります。全体のデザインとして、重め、暗めのイメージも不適切という意見があります。

また、志の表示についても、志を見事に表現した文言ではあるけど敷居が高い印象を与えている、という意見があります。

本多：運営体制として、powered by FCJAPANという表記があり、FCJAPANを運営している株式会社クラブハウスが更新、サーバーシステムの運営・管理を無償で提供しています。

メインのコンテンツである月例会報告については、次回の案内は表示されず、報告のみが掲載されています。会員以外の方には、次回がどんな内容で、どこで開催されるかわからない。報告に興味を持った方は、メール連絡をとって参加への道が開かれるということになります。

現在の課題としては、まずデザイン。怖い、暗いイメージであること。そして、HP開設後にできたロゴが浮いてしまっているというのも問題です。また、開設から7年もたっているのに、さすがにデザインが古くなっています。ロゴがあるので、ロゴのデザイン、色を生かしたデザインとすること。そして、次回の案内を掲載した方がいいだろう、という意見があります。どのように、どこまでの情報を掲載するかは、議論が必要です。

## 2. リニューアルの方向性

### 1) 月例会案内の告知と会員認証

中塚：総会でここまで出てきた意見としては、次回月例会のテーマまではサイトに出してもいいけども、会場、日時までは出さないよ、ということです。

本多：皆さんからメールで寄せられた意見を見ると、サイトに月例会案内を全部出してもいい、という意見もあるようですが、特に強いこだわりはないようです。

中塚：会員になると案内が届く、それ以外の人には届かないというのはどう思いますか？

総会で意見が出ていたのは、通信をメールで受け取っても、それが自分のパソコンで行方不明になったり探すのが面倒になったりすることがあるので、サイトに掲載してもらえるとありがたい、ということでした。「何月に、どんなテーマで行われるか」までは一般の人でも見ることができる。さらに、会員はパスワードを打ち込めば、案内全文を見ることができる。つまり、月例会案内を2段階にわけてサイトに掲載していただくことは可能か、ということです。

本多：資料にあるように、ID、PWを入れると、PDFになった案内を読むことができる、会員でない方はテーマのみ見ることができる、ということですね。会場、日時はどうでしょうか。どこまで非会員に開示するかです。

中塚：技術的、費用的にはどうですか？別途費用がかかりますね？

本多：私からの提案としては、これまでFCJAPANというバナーを出してらう対価として、サイト、サーバーの管理を「株式会社クラブハウス」で行ってきたように、FootballJapanというサイト名を表示する対価、パートナーとして「株式会社シックス」にて費用を負担するというものでいかがでしょうか。どこまでをバナーの対価として吸収できるかは検討します。また、牛木さんのメールにあったように、「なぜ企業のバナーが出ているのかわかりにくい」ということはあるので、その意味合いは明記したほうがいいですね。

注)本多氏は、2008年4月に株式会社クラブハウスの社長を退任し、株式会社シックスを設立。FCJAPAN、FootballJapan (<http://www.footballjapan.jp>) はそれぞれクラブハウス、シックスが運営するサイト。

中塚：それであれば、この仕組みは採用できますね。

本多：総会での議論やメールでの意見を見ても、会員だけのサービス、コンテンツをつくっていくべきだというのはあるので、月例会案内は会員向けということで行きましょう。次に月例会報告です。

中塚：素人的な質問ですが、IDやパスワードを会員じゃない人に読み取られるリスクはありますか？

本多：システム的には、ないと考えてもらっていいです。今回に限らずですが、人為的なところで見られてしまうというのはあると思います。たとえば、中塚先生が会員ページを開いたままにしているPCを他の人が見るとか、パスワードをメールで送って、それが他の人の目に触れるとか、PCにパスワードを覚えさせていて、他の人がログインしてしまうとか。ですが、システムとしてはしっかりセキュリティは守られるはずで。

## 2) 月例会報告の掲載と参加申込の自動化

伊藤：ぼくが今日、はじめて参加できたのは、月例会の報告を見られたことが大きいです。以前の報告を見て、その内容や、参加されているメンバーを見て、参加してみたいと思いました。会員だけに見せるという意見もあるかと思いますが、ぼくにとっては、見ることができたことが参加につながったと言えると思います。

本多：会員のメリットを高めるために報告をクローズドにする、という考え方もあるのですが、まさに伊藤さんの行動にみることができるよう、月例会報告は、新しい会員を呼び込める装置になっているんですね。

伊藤：過去の活動がわからなければ、ぼくはここには来ることができなかったと思います。

中塚：牛木さんの意見にあったように、月例会報告の要約を公開する、ということもアイデアとしてはあります。かつて「サロン・ド・トウカイ」では、あえて全文掲載しないようにしていたのですが、報告を二つ作る手間もあって大変ですね。伊藤さんの話にあったように、フルバージョンを公開して、

興味を持ってくれた人は参加して入会してもらおうということでどうでしょうか。白井さんの意見にもあったように、広く閲覧してもらおうのがNPOの趣旨にも合致するということもあります。つまり、「入会するとこんなメリットがありますよ」ではなく、「入会して、ともに何かをしていきましょう」というスタンスです。

伊藤：いい情報があるのだから、それを閉じることにメリットは感じられないです。オープンにして、広く知ってもらおうのがいいことだと思います。

中塚：報告は、従来通り、オープンでいきましょう。そして案内は、タイトル、テーマのみを一般に公開するというでいきましょう。

本多：ID、PWを認証するページに、入会希望者はメールで連絡ください、ということを表記するということですね。

中塚：入会のページにリンクしてもらえばいいです。

伊藤：知り合いの会員がいると、その人の紹介で参加できるというのはわかったのですが、ぼくの場合は知り合いがいなかったのので、中塚さんに連絡して、参加しました。

本多：実際には、サイトで見て参加する、ということに、中塚さんにメールして詳細を確認する、という手間が入るだけということですね。

中塚：それは自動化できませんか？　たとえば、月例会案内、つまり通信がサイトにアーカイブされていて、入会したら見られるというように。現状だと、年会費を払っていない人にも通信は送っています。送らないと連絡が途絶えてしまうので。新規で申し込みがあった場合は、その方を通信者のリストに加えて、入会した段階で通信を送るようにしています。

本多：では、入会希望者はメールアドレスを登録すると、それが中塚さんに「入会希望者」として届くようにしますね。仮入会として通信が届く、というイメージですね。

中塚：ただし、それだと名簿は送られないし、メーリングリストにも参加できない。それらの“サービス”は、入金確認後です。ただ、パイプはつながるということです。システム制作費も含めて、どれくらいの費用がかかるのですか？

本多：会員の認証と、次回案内希望のメールアドレス登録と、もう一つは、月例会案内などを中塚理事長および、月例会担当の徳田さん、安藤さんも更新できるという仕組みですね。そこまで加えて20万円程度ですね。

中塚：もう一つ。月例会参加・不参加のリストを表示できませんか？　いつもはぼくが取りまとめてメールで送っているんですが、エントリーしたら自動的にリストに表示されるようにしたいです。10周年のパーティのとき、担当の徳田さんがそのようなシステムを用意してくれました。そうすると、いま、誰が申込んでいるのかがリアルタイムにわかるのでよいと思うのです。

本多：それはできます。参加者リストも、もちろん会員のみが閲覧できるような形に、ですね。

中塚：月例会報告にもどって、掲載の仕方ですが、2種類の表示をしようということになっています。  
HTMLとPDFですね。HTMLは手間がかかるのですか？

本多：これまで数ページに分けて掲載していたのを、1ページにするようになって、かなり簡略化できました。

中塚：目次から、該当箇所をクリックすると各項目にいけるようにしたい。

本多：それは「アンカー」と言うんですが、OKです。

中塚：総会の議事録などについては、まだ掲載されていない（抜け落ちている）ところもあるので、リニューアルのタイミングで、HTML+PDFで公開していくようにしましょう。

### 3) 掲示板は必要か

本多：そのほかに、会員だけのサービスとして何か要望がありますか？

中塚：月例会テーマについての意見を、会員が述べることができるという機能でしょうかね。

本多：メールでの意見にもありました。メッセージ交換ができる掲示板ですね。2002年にワールドカップ・プロジェクトのなかで掲示板を立ち上げています。企画はよかったけど、あまり活発なやりとりがありませんでした。盛り上がると活発な議論が生まれてきますが、盛り上がらないものは、無理に盛り上げようとしてもなかなかうまくいかないですね。現状では、メーリングリストがありますので、そこでメンバーへの投げかけ、問合せは可能な環境になっています。また、SNSにどう取り組むか、という議論もありました。

参照：ワールドカッププロジェクト2 [ 観戦と交流の物語 ]  
<http://www.salon2002.net/wcproject/story5/cf.cgi>

中塚：企画はよかったのにな～（笑）

伊藤：これは、オープンにしていたんですね。

中塚：オープンで、いまでものぞけますね。

伊藤：確かにオープンではあるけども、なかなかここに辿り着かないですね。

中塚：サロンでやるとしたら、オープンでなくて会員限定でいいと思うんです。当時は、誰でも書き込めるようにしたんですね。

本多：書き込みも、閲覧もオープンです。

中塚：掲示板については、今後の検討課題としましょう。

本多：今回のリニューアルの後に、改めて月例会か、ウェブ上の議論かで、検証していきましょう。

#### 4) トップページデザイン

本多：次にデザインですが、皆さんからの意見では、B案、C案（注：事前に提示された分類による）に支持が分かれています。A案はグレー中心で、冷たい、無機質な印象があるのだと思います。やはりロゴの緑と黄色をつかうのがいいだろうという意見が集まっています。

中塚：これは多数決で決めていけばいいと思います。

本多：では、本日の議論を受けて、最終案をまとめます。

中塚：総会の出欠連絡と同じ手法で、メールで問いかけて、ぼくが取りまとめるようにします。原始的なやり方ですが（笑）。記名で投票してもらいます。

本多：写真が、またオジサンっぽい、という意見もありました。

中塚：サイト立ち上げ当初から、トップページの写真は定期的に入れ替えるという話があったけど…。ぼくはいまの写真も好きですね。

本多：何種類かの写真がランダムに表示されるようにすることはできますよ。サロンをうまく表現できる写真ということで、宇都宮さんにご提供いただければ。あとは、写真のキャプションを入れたほうがいいですね。

中塚：頻度は高くなくていいので、ときどき更新していくようなイメージで、メンバーから写真を募集するなんていう遊び心もほしいですね。

本多：宇都宮さんに対抗するなんて、恐れ多いですが（笑）

#### 5) プロジェクトと公開シンポジウム

中塚：ところで、プロジェクトのページで、「ワールドカップ総括シンポジウム」の後、シンポジウムの報告が掲載されていないのは問題です。非常に貴重なコンテンツです。また、昨年12月のシンポジウムでは、ある参加者が自分のサイト上に勝手に報告を掲載してしまうということも起こりました。その際、こちらから掲載をお断りした根拠として、「我々が責任をもって公開するものだから」ということがありました。そういう意味で我々は、シンポジウムの内容を、サイトに出す義務があるんです。

本多：リニューアルの時点で、これまで抜け落ちていたものも出しましょう。膨大なボリュームがあるので、PDFで公開していきたいと思います。

中塚：PDFでいいとして、これもどこまで載せるかという問題があります。つまり、シンポジウムの内容は、「公開シンポジウム」なので公開していいのですが、特別寄稿についてどうするか。報告書の希少価値を高めるために、「報告書にしか掲載されていない」というのでいいだろうと思う一方で、

「報告書のなかだけで眠らせておくのはもったいない」という気もします。

本多：これまでは、特別寄稿はサイトにアップしていませんね。興味深いコンテンツが多いので、公開したいですね。

中塚：ただ、サイトに公開してしまうと報告書がいない、ということにならないでしょうか。一般には500円で頒布しているし、いつの時代にも冊子の良さはありますからね。執筆者に公開の是非について了解を問う必要もあるでしょう。了解が得られたものについては公開することを考えていけばよいのではないのでしょうか。

本多：ぼく自身も何度か書かせていただきましたが、せっかく書いたのだからサイトでも公開してほしいと思います。

中塚：ぼく自身もそう思う。けど、サロンのサイトではなく、自分のサイトで公開したいという人もいるだろうから、その場合はそちらにリンクしてあげる、ということ。

## 6) 他のサイトへのリンク

本多：他のサイトへのリンクのページもあります。現状だと、サロン・ド・トウカイ、アライアンス2002などです。月例会、出張サロンなどでかかわってくれた団体はここに掲載していけばいいと思います。たとえば、牛木さんのピバ！サッカー研究会とか。

中塚：あとは、ヨココムとか。公開シンポジウムで後援に入ってもらった団体は入れたいですね。つまり、サロンとGive and Takeの関係にある団体です。そのリストはぼくがまとめるようにします。

本多：JFA、Jリーグなどはあったほうがいいでしょうね。

中塚：DUOリーグも入れないと（笑）。

## 7) サロン2002の紹介とオフィシャルサイトの全体構成

本多：沿革と月例会報告は重複するところもあるので、整理したいと思います。

中塚：「totoを活かそう」のシンポジウム報告書をつくった際、「サロン2002のあゆみ」をまとめたものがあるので、利用してください。  
次に、会員名簿です。

本多：名簿担当の川井さんからデータをいただければいいですね。

中塚：意図としては、「サロン2002はどのようなメンバーで構成されているのか」ということを明示することによって、どのような団体なのかを示したいということ。

伊藤：どんな人がいるのかわからないと、どのような団体なのかはわかりません。実名である必要があるかどうかですが。

中塚：現状は、名前を載せないひとは会員にはなれません。バーチャルな付き合いではないのです。以前、名前を出したくないと言う人もありましたが、会員になっていただくことはできませんでした。他者の情報を得ながら自分は匿名というのにはあり得ないです。そういえば、サイト上で公開される月例会報告には名前を出さないでほしい、という希望はありましたね。

本多：月例会報告では、名前を掲載せず、「その他1名」などという表記もあります。

中塚：関西サロンが動き出し、今後このような活動も増えてくるでしょう。月例会報告の中での位置づけをどうしましょうか。東海、九州などと、地方でのサロンが定例化されてきたようなときに、いまような単純な一覧でよいでしょうか。これはこれで、時系列でいいかな…。

本多：現状ではこの一覧でいいと思います。もし、他の地域の月例会が行われるようになったら、その時点で検討しましょう。

中塚：総会報告ですが、上が新しくて下が古いというのは、いいんですよね。

本多：見る人からすれば、上が新しくていいと思います。ウェブのインターフェイスとしては自然だと思います。

中塚：（全体的な構成として）サロンとは何か、という部分と、サロンのアウトプットの部分が、それぞれまとまっていればいいですね。アウトプットには、月例会、シンポジウムなどが含まれます。

本多：総会報告・議事録は、どこに置きましょうか。サロンとは、そのあり方は、ということを議論して議決した内容として、「サロンとは」に含まれる、という考え方もできるし、アウトプットの一つという考え方もできなくはない。

中塚：総会はアウトプットではないでしょう。「サロンとは」の一部です。会員名簿も「サロンとは」ですね。

本多：現状のサイトとしては、会員名簿として別項目にしています。

中塚：この項目とは別に、入会する人がクリックしやすい項目がほしいですね。

本多：では、「入会ご希望の方はこちらから」として一番下に入れます。

### 3. おわりにーHPの位置づけと「敷居」のあり方

中塚：本質的な話になりますが、本杉さんからのメールにあったように、「HPの位置づけをどうするか？」。アカデミックなことをやっている集団だということをアピールするのか、会員がよりサロンを楽しめるものにするのか、あるいは会員を増やすツールとして使うのか。

本多：これまでも頻繁に議論されていますが、サロンとして会員or非会員の敷居をどんな高さで、どん



な形で作るのか、というサロンのあり方が明確であれば、それに従ってサイトのあり方も明らかになるのだと思います。

中塚：理事長としては、敷居を下げるつもりはないです。志に賛同し、**Give and Take**が出来る人。ただ、敷居を下げなくても、志の高い人をもっと開拓したい。気になっているのは、志が高い人たちであっても、**Give and Take**という文言を過度に意識しすぎて離れていってしまう人がいることです。「月例会にあまり参加できない」とか「情報提供ができていない」という理由で離れていく方は非常にもつたいない。**Give and Take**を、単年度でなく、長い目で見ているのですが…。敷居は下げないけども、漏れは避けたいと考えます。

中塚：本杉さんの意見に応えるとすれば、「アカデミックなこと（もっと現場寄りですが）」をやっている集団だということを示すツールとしてサイトを活用したいです。それがより見やすく表現されているようにしたいですね。

伊藤：はじめての人がこのサイトを見て、参加したいというときに、今すぐに**Give and Take**はできないけども、皆さんの話を聞かせてもらいたい人は多いと思うんです。何が**Give**かというのも難しいですね。

中塚：数年前から、退会の意思表示をしない限り会員である、ということになっています。敷居を下げるのではなく、漏れをなくす、という考え方です。

伊藤：サロンに対する**Give**というのは何か、という疑問はありました。何を求められるのか？

本多：たとえば、シンポジウムでの受付や、テープ起こしなどもあるし、いろいろな**Give**の形があると思います。

中塚：自己紹介して会費を納めるというのも立派な**Give**ですしね。

ではそろそろまとめます。デザインは、ロゴを活かした形で、より見やすく、受け入れやすいものに。これまで漏れていたものは、掲載する。サロンの活動を広く公開する。入会の手続きをわかりやすくする。会員のみコンテンツとして、月例会案内を掲載する。最後に、リニューアルのタイミングはどうしましょうか。

本多：次のシンポジウムの告知がスタートするタイミングではリニューアルしておきたいですね。

中塚：では、8月末、ということで進めていきましょう。

以上